

看護協会だより

看護ぎふ

Vol.110 

KANGO GIFU 2025.1.15

病院
紹介

一般社団法人
海津市医師会

海津市医師会病院



CONTENTS

◆ 会長 年頭あいさつ	2	◆ おくやみ	8
◆ 理事会報告	3	◆ 特定行為研修修了者の活動報告	9
◆ 選挙管理委員会からのお知らせ	3	◆ 新年の抱負	10
◆ 第13回岐阜看護学会	4・5	◆ とっておきの癒し	11
◆ 職能委員会活動報告	6・7	◆ 表紙施設紹介	12
◆ 岐阜県へ要望書を提出しました	8	◆ 献血ご協力をお願い	12



■発行/令和7年1月15日 公益社団法人 岐阜県看護協会
岐阜市数田南5丁目14番53号 岐阜県民ふれあい会館第1棟5階
TEL.058-277-1008 / FAX.058-275-5300
URL: <https://gifu-kango.or.jp> E-mail: gifukango@gifu-kango.or.jp
■編集責任者/青木 京子 ■印刷/株式会社イナハ印刷社

年頭のご挨拶



公益社団法人
岐阜県看護協会
会長 青木京子

令和7年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

2025年の干支は乙巳(きのとみ)です。「乙」は「軋(きしむ)」を意味して、柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。「巳」は蛇を表します。蛇は古来より豊穰や金運を司る神様として祀られることもあり、たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。この組み合わせは、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持ち、これまでの努力や準備が実を結び始める時期といえるそうです。

昨年は、1月1日石川県での能登半島を震源とする地震、9月の記録的な大雨による河川の氾濫や土砂崩れという“二重被災”がありました。また、8月8日に起きた日向灘を震源とする地震を受け、「南海トラフ地震臨時情報」(巨大地震注意)の発表が気象庁からありました。いつ大規模地震が起きてもおかしくない状況に、日ごろの備えの強化を再認識された方も多いのではないのでしょうか。岐阜県看護協会も協会事務室の棚や事務機器の転倒防止対策を行いました。また、新しい「災害支援ナース」の派遣について県と細かく調整をしています。

さらに昨年を振り返ってみますと、1年間に生まれた子どもの数は過去最少を更新し、「人口戦略会議」は744の自治体が2050年までに「最終的には消滅する可能性がある」とした分析を公表しました。「近代日本経済の父」と呼ばれる渋沢栄一の肖像がデザインされた新一万円札が発行され、最低賃金は時給1054円と引き上げられました。そして、総理大臣が岸田総理から石破茂総理へと交代されました。

看護を取り巻く医療状況もますます変化が激しくなっています。これからは地域で健康に生きていくための支援を多職種が連携し取り組まなければなりません。そのためには、量と質両面での人材確保、DXを活用した業務の効率化、感染・災害対策等、多くの課題に対応していく必要があります。岐阜県看護協会においても、目の前の課題に加え中長期視点を持ち、2040年に向けて計画的に事業を進めていきたいと考えています。人生100年時代、時代の変化に合わせた新しいスキルを身に付け、生涯学習に努めて専門性を磨き、様々な場において生涯現役の活躍をされる会員の皆さまを支援し、岐阜県看護協会も共に取り組んでまいります。

この1年が皆様方にとっても、益々のご活躍の年となりますことを祈念致しますとともに、引き続き岐阜県看護協会へのご理解、ご協力をお願いし、年頭にあたってのあいさついたします。

理事会報告

令和6年度 第5回理事会 令和6年10月24日(木)

□ 決議事項

- 第1号議案 令和6年度会員入会の承認について（承認事項）
承認会員数 73名（承認後会員数 12,381名）

○すべての議案は承認、可決されました

□ 協議事項

- 1 次年度重点方針・重点事業についての検討

令和6年度 第6回理事会 令和6年12月12日(木)

□ 決議事項

- 第1号議案 令和6年度会員入会の承認について（承認事項）
承認会員数 22名（承認後会員数 12,407名）

- 第2号議案 専決処分の承認について

- 第3号議案 公益社団法人岐阜県看護協会 研究倫理委員会規程の一部改正について

- 第4号議案 公益社団法人岐阜県看護協会 事務決裁規程の一部改正について

○すべての議案は承認、可決されました

□ 協議事項

- 1 令和7年度重点事業内容について
2 令和7年度理事会・四役会・支部長会・合同委員会開催日について

令和7年度改選役員及び推薦委員 令和8年度代議員への立候補について 〔選挙管理委員会からのお知らせ〕

改選役員および推薦委員、代議員等の選挙を実施しますので、立候補及び受付期間等についてお知らせいたします。
令和7年1月15日

令和7年度改選役員等	
改選役職・定数	理事6名（副会長、助産師職能理事、看護師職能II理事、岐阜北地区理事、飛騨地区理事、准看護師理事 各1名）
改選推薦委員・定数	推薦委員 3名
選挙期日・場所	令和7年6月18日(水) 令和7年度定時総会 於:サラムンカホール
令和8年度公益社団法人岐阜県看護協会代議員等	
代議員 定数:127名	補欠代議員 定数:64名
選挙期日・場所	定時総会と同じ時期（定数を超えた場合のみ） 対象支部正会員による郵便投票
立候補の届出方法	立候補届出書に記入の上、正会員5人以上の推薦書を付けて、選挙管理委員会あてに郵送ください。
令和8年度公益社団法人日本看護協会代議員等	
代議員 定数:13名	予備代議員 定数:13名
選挙期日・場所	令和7年6月18日(水) 令和7年度定時総会 於:サラムンカホール
立候補の届出方法	立候補届出書に記入の上、選挙管理委員会あてに郵送ください。

届出締切日 令和7年4月18日(金) 必着

立候補届出書等請求先・お問い合わせ先 公益社団法人岐阜県看護協会 総務課 電話058-277-1008

第13回 岐阜看護学会

メインテーマ

『新時代に挑む看護の創造 ～今こそ発揮!私たちの底力～』

開催日:令和6年12月14日(土) 会場:岐阜県民ふれあい会館 参加者:168名(事前登録166名 当日参加者2名)

第13回岐阜県看護学会は「新時代に挑む看護の創造～今こそ発揮!私たちの底力」と題して開催しました。

特別講演では、国際医療福祉大学大学院教授・副大学院長の福井トシ子氏に「健康危機における看護」と題しご講演いただきました。健康危機は豪雨や地震などの災害時だけでなく気候変動、感染症のパンデミック、あつてはならない紛争の中においても生じるものであり、看護職はこのような危機の状況下にあつても人々のいのちと暮らしをまもるプロフェッショナルとして対応すべく自律と力が求められていること、また、現代のように先行きが不透明で将来の予測が困難な時代を表す「VUCA」という言葉とVUCA時代に必要な対応として、意思決定方法OODA(ウーダ)ループ(1観察、2状況の理解、3決める、4動く)を紹介され自分の役割が何か瞬時に判断し即応することが危機を拡大させないために重要であり、個人だけでなくチームや部署、組織レベルでもスピーディで柔軟に対応することが不可欠であると説かれました。また、ネガティブケイパビリティ(答えの出ない事態に耐える力をつけること)で自分自身に寄り添う大切さについても話されました。ユーモアを交えて楽しく新たな知見が得られた90分でした。



一般発表は、「研究発表」5題「実践報告」7題「事例報告」2題の計14題でした。発表は、臨床現場での課題解決に取り組まれたものや看護師養成所の卒業生の社会人基礎力の育成状況と教育方法に関する考察、特定行為看護師による創傷管理に関する患者の支援等々、内容は多岐にわたりの演題もとても興味深い内容でした。今年度からは優れた演題を参加者の皆さまに選んでいただき、第14回岐阜看護学会において学会長表彰とする予定です。

シンポジウムでは「能登半島地震から学ぶ災害看護」と題して発災直後より情報収集や災害支援ナース等の調整をされた石川県看護協会長の小藤幹恵氏、自施設が大きな被害を受けながらも入院・外来患者、避難された地域住民、病院職員の支援をしつつ災害支援ナースを受入れられた公立穴水総合病院の総看護師長の松井真智子氏、被災地へ災害支援ナースを送り出した看護管理者の多治見市民病院看護部長の長谷川多嘉根氏、災害派遣の初期メンバーとして活動された岐阜県立下呂温泉病院の山本泰大氏の4名にそれぞれの立場から発表していただきました。混乱の中、手探りで進んだ経験や得られた学びを共有させていただくことで、災害看護を自身の問題と捉え、各自がそれぞれの立場で将来を見据えた対応や準備をしなければならないことを学びました。

ランチョンセミナーでは、「質の高いベッドサイド看護について考える」と題し、済生会松阪総合病院専従医療安全管理者の谷真澄氏と同病院医療機器安全管理者の天野有二氏に講演をいただきました。通信機能付き医療機器と電子カルテの連携に取り組まれ業務の負担軽減や看護ケアの時間確保をされたこと、シリッジポンプなどの患者利用を一目でわかるシステムを構築した等、医療DXの活用により看護師の安全かつ効率的な業務支援に繋がることをご紹介いただきました。

来年の岐阜看護学会は令和7年12月13日(土)の開催予定です。熱意をもって日頃から取り組んでおられる看護実践の成果を皆さんへ紹介、報告する機会としてぜひご活用ください。看護研究助成金制度の設置、学生参加費無料化などを行い、本学会がより充実したものになるよう努めております。ぜひ活用いただき、来年も多くの演題登録およびご参加をお待ちしております。

来年も多くの演題登録およびご参加をお待ちしております。

●特別講演

【テーマ】健康危機における看護

【講師】

福井トシ子 氏

国際医療福祉大学大学院

副大学院長・日本看護協会 前会長



●ランチョンセミナー

【テーマ】

質の高いベッドサイド看護について考える

【講師】

谷 真澄 氏

済生会松阪総合病院 専従医療安全管理者

天野 有二 氏

済生会松阪総合病院 医療機器安全管理責任者

兼医療技術部臨床工学課係長

●演題発表

「研究発表」5題、「実践報告」7題、

「事例報告」2題 計14題



●シンポジウム

【テーマ】能登半島地震から学ぶ災害看護

【シンポジスト】

小藤 幹恵 氏

公益社団法人石川県看護協会 会長

松井 真智子 氏

公立穴水総合病院 総看護師長

長谷川 多嘉根 氏

多治見市民病院 看護部長

山本 泰大 氏

岐阜県立下呂温泉病院 技術主査



重要なお知らせ

NuPSの各種機能(キャリア情報の閲覧など)の提供開始時期は2025年秋以降となります。

- ・ NuPSは国家資格等情報連携・活用システム(デジタル庁)および医療従事者届出システム(厚生労働省)との情報連携を通じて看護職のキャリア情報の閲覧や研修受講履歴の閲覧などができるポータルサイトです。
- ・ 2024年11月22日にデジタル庁より、戸籍情報照会についての問題解消のための国家資格等情報連携・活用システムの改修が2025年夏頃になるとの連絡がありました。これに伴いNuPSの各種機能の提供開始時期を延期します。開始時期が確定しましたら改めてお知らせします。

以下もあわせてご覧ください。

国家資格等のオンライン・デジタル化(デジタル庁 ホームページ) ▶





令和6年度 職能委員会活動報告



保健師職能委員会

保健師職能委員会では、地域の課題を見出す事例検討会の手法を学び、実際に研修会の中で事例検討が行えるように準備をしました。また、助産師職能委員会と合同で委員会を行いました。

事例検討会の研修は、「人材育成を目指した事例検討会の必要性と方法を理解する」という目的で行いました。事例検討会を職場で経験したことがない委員もいました。しかし、事例の情報を丁寧に捉え、アセスメントに導き、地域課題にまで結びつけていく視点は、他でも必要とされる技術です。委員全員で、何度も立ち止まり事例検討することで大きな学びができたことはよい経験でした。

助産師職能との合同委員会では、10代妊婦の支援について事例検討をしました。妊娠中から地域連携すること、10代妊婦が支援者の誰かとつながりをもつこと、妊婦の強みを大事にした支援の必要性など確認しました。保健師職能委員から、助産師さんの力強い意見を聞いて、より連携していきたい気持ちになったという意見もありました。

引き続き委員会活動のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



保健師職能委員会委員長
松波 実智誉



助産師職能委員会

助産職能委員会では、母子のための安心安全な地域包括ケアシステムの推進を図ることを目的に活動しています。令和6年度は、県内の産科医療機関に対して災害対策に関する実態調査を行っています。現状を把握し、助産師が専門性を発揮し、母子が安心安全に生活できる体制づくりを目指して、結果をまとめて課題を抽出する予定です。また、昨年度に引き続き、9月の委員会では保健師職能委員会と合同で事例検討会を行いました。ハイリスク事例に対し、助産師・保健師それぞれの立場から具体的な支援内容を考え、妊産婦さんに切れ目のない支援をするためには多職種・地域連携が重要であることを改めて感じました。助産師自身がスキルアップを目指し、生き活きと働けるような取り組みができるよう、研修機会や機関誌の発刊にも取り組んでいます。助産師や助産師の支援を必要としている女性やその家族のニーズに即した活動となるよう、継続的な取り組みを行っています。



助産師職能委員会委員長
岐阜大学医学部附属病院
末次 加奈



看護師職能委員会Ⅰ

看護師職能委員会Ⅰは「私たちは病院で本来の業務（専門性を要する業務）に専念できているのだろうか」という意見交換から、今年度、看護業務の効率化、タスク・シフト／シェアの推進に向けて取り組みを始めました。まずは私たち（委員）が働く病院の看護業務とタスク・シフト／シェアの現状調査を実施しています。調査は、文献を参考に85項目の看護業務について「看護師のみが実施」、「協働して実施」、「他職種が実施」の現状と「その職種」、また「タスク・シフト／シェアの意識（思い）」の実態を探っています。調査後は、集計と分析を行い、課題・方策を検討し、推進に向けた活動につなげていきたいと考えています。

11月には四職能合同研修会を開催しました。研修会では職種間が交流し、各々の職種の立場・役割の理解を深めながら、地域包括ケアシステムの新たな知識を得ました。幅広い現場で力を発揮するための貴重な機会となりました。

今後とも委員会活動へのご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。



看護師職能委員会Ⅰ委員長
岐阜赤十字病院
大西 浩子



看護師職能委員会Ⅱ

令和6年度看護師職能Ⅱ委員会では、「災害時に活用できるBCPの推進」と「高齢者施設・在宅領域等における看護業務の安全と質の向上」を、2本柱として活動計画を立てました。災害時に活用できるBCP推進では10月26日に研修会を実施し、能登半島地震被災地支援に従事されたお二人の講師から、被災地の避難場所の様子、栄養の備えの重要性、行政・地域との連携のため準備することを学び、それぞれの事業所のBCPアップデートに役立つ機会となりました。看護業務の安全と質の向上では、高齢者施設で働く看護師研修計画、新任看護師教育計画活用のための広報活動の初年度として、実践の準備段階です。看護協会未入会の施設を含め広く広報活動する方法を模索し、多くの施設に教育計画を手にとって頂けることを目指しています。また、四職能合同委員会での研修にも参加し、意見交換の場として活用しました。

職Ⅱ領域の看護職の皆様のお役に立てる委員会であるために、高齢者施設、訪問看護事業所計6名の看護職代表者で元気に活動しています。



看護師職能委員会Ⅱ委員長
ナーシングケア北方
吉村 双羽



岐阜県へ要望書を提出しました

10月18日(金)青木会長から丹藤健康福祉部長を通じ、古田知事へ提出しました。

要望内容は以下のとおりです。

1.看護職の働き方改革の推進について

<新規事業>

- 1) ナースセンター事業の強化と事業拡充のための経費の確保
- 2) 看護補助者の確保・定着に係る経費の確保
- 3) “看護の日”活動を県事業として位置づけるとともに、事業に必要な経費の確保
- 4) 看護現場におけるDXの推進に向けた財政支援について

2.領域の開発・展開について

<継続事業>

- 1) 災害・感染症蔓延時の対応力強化として岐阜県立看護大学に感染症看護専門・認定看護師養成コースを開設
- 2) 訪問看護事業所における特定行為研修受講への支援の継続と、受講料及び職員の雇用に係る人件費の増額
- 3) 訪問看護総合支援センターの活動を県事業に位置付けるとともに、運営に係る予算の確保、訪問看護事業所における新卒看護師及び新任看護師の確保・定着・育成に係る予算の確保



おくやみ

当協会名誉会員の大坪 澄 様が、去る令和6年4月25日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

ご活躍の足跡

50年4ヶ月の長期にわたり看護業務、看護行政、看護学生の指導、また岐阜県看護協会の事業充実に貢献されました。

養成所卒業後、診療所に勤務され、職員と地域住民の身近な看護師として、あたたか味のある人柄で来所者の相談指導にあたられました。国立岐阜病院に勤務後、28年9ヶ月の長期にわたり、看護部の基盤づくりに貢献され、部下の指導を行い看護師の資質向上に努められました。その後、異動した岐阜県立衛生専門学校の教頭職、保健師・助産師・看護師の養成教育と専任教員の指導等看護教育の向上と発展に情熱的に取り組まれました。

看護協会活動としては、事業課長としてナースバンク事業の整備を積極的に推進され、看護職の人材確保に尽力されました。就業状況等の調査・看護に係る啓発活動・訪問看護の支援に関する事業を推進し、ナースセンターの業務の充実を図られました。その他、岐阜県看護協会立訪問看護ステーションの開設に尽力され、ナースセンターに従事しつつ理事と事業課長を兼任し、ナースセンターに人材確保の相談に来所する県下の看護部長への相談指導・情報の収集により、協会活動の方向性を確認し、理事としての協会活動を充実することに貢献されました。

看護師として、当協会に多大な貢献をされたことに深く感謝を申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

特定行為研修修了者の活動報告

①受講のきっかけ、受講しての感想

私は、3年前に上司より勧められて特定行為研修説明会に参加したことをきっかけに特定行為研修修了者の活動に興味を持ち始めました。当初、「臆病で慎重な私が特定行為を実践することは無理だ」と思っていました。しかし、周囲の特定看護師の活動を目の当たりにする中で、自分の知識・技術を向上させることが患者さんへ提供する医療・看護の質向上につながると考えるようになり研修受講を決めました。研修では、幅広い分野で深く学び、得た知識を実習につなげていきました。途中、大変な時期もありましたが、研修センターの方々や上司、同僚の支えがあって乗り越えることができました。



岐阜大学医学部附属病院
福満 千子

②現在の活動内容

現在は、心臓血管外科・呼吸器外科病棟で勤務しながら、ドレーン抜去、人工呼吸器からの離脱等の特定行為を積極的に実践しています。また、専従で横断的に特定行為を実践する院内担当特定看護師の体制が構築され、私も毎月数日間、横断的に特定行為を実践しています。そして、病棟を超えて看護の質を向上させるためのスタッフ指導を行っています。

③今後、どのように活動したいか

今後は特定看護師として、特定行為の知識や技術のスキルアップを図り、医師のタスクシフト/シェアやスタッフ指導の充実につなげていきたいと思えます。そして、私の活動が患者さんの安心と満足につながることを目指していきます。



【修了区分】

呼吸器(気道確保に係るもの)関連
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連
動脈血液ガス分析関連
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
術後疼痛管理関連
循環動態に係る薬剤投与関連
胸腔ドレーン管理関連
腹腔ドレーン管理関連
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連
創部ドレーン管理関連

新年の抱負

新年にあたり今年の抱負を寄せていただきました



岐阜県立多治見病院
土本 佐和子
私が働く整形外科は、昨年5月より新しい棟に移りました。患者さんや地域の皆さんに寄り添い、心の通う看護を提供していきたいです。



岐阜清流病院
玉井 万葉
「初心を忘れず、個別性を大切に、患者・家族に寄り添う看護」に精進します。



山田病院
土屋 貴史
法人理念「みんなを笑顔に」をモットーに、患者さんのニーズに応じた看護を実践していきたいです。



関中央病院
古田 祐世
様々な職種や施設と協働し、病院内・地域における感染管理活動を実践するために、自己研鑽に励みます。



国民健康保険
上矢作病院
金子 美嘉乃
昨年、病院の協力のもと感染制御実践看護師の資格を得ました。学びを活かし感染管理に努めていきます。



大垣市民病院
大堀 美香
今年は推し活再開！ライブに行つて応援するぞ！推しからパワーをもらって充実した一年にします！



澤田病院
服部 静香
学びを生かし、療養生活がより良いものとなるよう、患者さんに寄り添った看護の提供に努力していきます。



朝日大学病院
池田 拓矢
呼吸器疾患看護認定看護師として、患者のQOL向上を目指し、多職種で協働するベテランシップを発揮していきます。



公立学校共済組合
東海中央病院
土屋 祐子
看護師歴38年、まさかの定年延長！プラチナナースの仲間入りにドキドキワクワク、新人のような気持ちです。

とっておきの癒し

「気ままな写真部員」

久美愛厚生病院 瀬上 妙子

院内の写真部に所属しています。何のスキルもないうえに立派なカメラでもなくスマホのカメラでの撮影ですが気ままに参加しています。

これまでに市内の古い街並みや桜並木、四十八滝や風鈴祭りなどの撮影に行きました。地元の良いところの発見にも繋がっています。特に早朝の爽やかな時間の撮影は散歩も兼ねられとても有意義です。そして

同じ被写体でも撮影者や撮影方法、時間で仕上がりが違うので興味深いです。普段じっくりと見ることのない自然にいろいろな発見や感動をもらえることが私にとって癒しの時間になっています。



「愛犬とわたし」

高井病院 林 真帆

私は今年で6歳のミニチュアダックスと暮らしています。仕事で家に帰ると、大喜びで私を迎えてくれる姿が愛おしくて仕方ないです。ペットには高い癒し効果が科学的に証明されており、精神的・身体的なケアの一環としてアニマルセラピーといった医療活動にも活用されています。日々のストレスもペットと過ごすことによって大幅に軽減されていると感じます。またペットを飼うことによりコミュニケーションのきっかけを作ることができ、職場などにおいて交友関係構築の一助となっています。これからも日々飼い犬に幸せをもたらしてもらい、今後も頑張っているための糧にしていきたいと思っています。



病院紹介(表紙の説明)

一般社団法人 海津市医師会 **海津市医師会病院**

【基本理念】

地域医療の原点に立ち、開放型病院として地域住民の健康の保持増進という目標を、登録医と共に達成する

当病院は、平成2年7月2日開院しました。岐阜県の最南端で愛知県と三重県との県境に位置しています。オープンシステム(開放型)をとっており、かかりつけ医が病院に赴いて回診、医療上の相談、又は指導を受けることができる病院です。訪問看護ステーションを併設しております。現在は、地域包括ケア病棟60床の稼働です。思いやりのあるあたたかい看護の提供を目指し、患者さんご家族とのコミュニケーションを大切にしています。患者さんが安心して在宅や施設に移行できるよう、かかりつけ医、近隣施設やケアマネジャー等との連携を図っています。

看護部は、新人看護師からプラチナナース(最高72歳)まで幅広い年齢層です。一人一人がより長い期間、健康で元気にやりがいをもって働き続けることができるよう、互いを支え合い努力していきたくと思います。



岐阜県看護協会 献血月間

冬期は献血者が減少傾向にあります。

岐阜県看護協会では、1月～3月を献血運動月間として献血に協力します。



二次元コードから予約のうえご協力ください。

予約されない場合は、献血会場にて団体コードをご提示ください。

団体コード **28-02692-00**



献血バス運行スケジュールはこちらでご確認ください

看護の日キャラクター
かんこちゃん 岐阜県版



あかなべ献血ルーム
(岐阜県赤十字血液センター)



岐阜市西部中島2-10
☎ 058-272-6911

受付時間 8:30～12:00
13:00～16:30

休日 日曜日
年末年始 ※(臨時開設あり)

岐阜献血ルーム アクティブG



岐阜市橋本町1-10-1 JR岐阜駅アクティブG 2階
☎ 058-264-2122

受付時間 10:30～12:45
14:00～18:00

成分受付時間 10:30～12:00
14:00～17:30

休日 年末年始 ※(臨時開設あり)
3月第3火曜日
(アクティブGの休日に準ずる)

協会の動き

◆看護協会会員数

<令和6年11月22日現在>

保健師	290名
助産師	424名
看護師	11,293名
准看護師	400名
合計	12,407名

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は能登半島地震があり、岐阜県からも医療チームが派遣され活動された方も多いかと思います。広報出版委員一同も、皆様のお役に立つ情報を発信していきたいと思っています。今年もよろしくお願いたします。

豊田 成司

広報出版委員会 委員長 杉本 晴美
委員 小林 裕子 児玉 憲子 市川 初江 豊田 成司